



第32回例会報告(2月28日)

【出席報告】

- ・会員数 58名
- ・当日出席率 56.25%
- ・欠席数 30名
- ・前々回修正出席率 100% 20回目
- <欠席会員> 原(竜)、檜垣(俊)、檜垣(巧)、飯沼、門田、菅、吉良、前川、松木、光藤、宮本、西本、西信、越智(節)、越智(務)、尾越、竹田、玉井、田中、渡邊(一)、吉武
- 〔免除会員〕 青野、原(真)、原田、松本、村上(敬)、佐伯、坂本、高木、八木
- <2/14欠席補填> (2/19高知) 檜垣(俊) (2/26今治南) 八石、檜垣(巧)、平尾、飯沼、小堀、小島、光藤、尾越、大澤、田中、竹田、吉田

会長報告・四国ガス株式会社代表取締役社長 檜垣俊二会員のお母様 ツネ様が、2月24日満89歳にてご逝去されました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

幹事報告・2月23日(土)、四国中央市ホテルグランフォーレで開催されました伊予三島RC創立50周年記念式典に出席致しました。

・ロータリーレート変更のお知らせ：現在1ドル=112円から、3月1日より1ドル=108円に変更となります。

職場訪問例会

～来島海峡海上交通センター(今治市湊町2丁目)～

平尾浩一郎職業奉仕委員長：今日は来島海峡海上交通センターにお邪魔しています。最近イージス艦と漁船の事故が起き、偶然ながらタイミングが合ってしまいました。渡邊一志会員にお口添えをいただきました。お忙しいなか今治RCの職場訪問に応じいただき、ありがとうございます。

来島海峡海上交通センター 所長 吉留健治氏：海上交通センターは全国に7カ所あります。昭和40年代の海運業界の発展に伴い、船舶が込み合う海域で事故を防ぐために整備されました。高性能レーダーやI T Vカメラ、大型コンピューターなどを使って、航行船舶の動静を把握・分析し、法令に基づく航行管制業務や衝突防止の注意喚起、気象情報の提供などを行っています。昭和52年2月、最初に東京湾海上交通センターの運用を開始しました。来島海峡海上交通センターの運用開始は平成10年1月です。航空機は一機一機管制されていますが、船舶は1隻ごとに管制できません。大きさも異なり、いろんな方向に動いています。ただ大きい船舶はある程度管制が効きます。船舶の航行には、海上衝突予防法という国際的なルールがあります。船舶は右側通行で、対抗してぶつかりそうになると、双方とも右によける規則になっています。さらに日本では海上交通安全法という法律で、船舶交通の安全を図るために細かな定めがあります。来島海峡は海上交通安全法によって16㎞にわたって航路を設けており、長さ50メートル以上の船舶は航路内を航行するよう義務付けられています。来島海峡は航路が狭く曲がっていて、島もあり、潮流は最大で時速10ノット(18㎞)に達します。



春から夏にかけては濃霧が発生し、時には視界が50メートル以下になります。来島海峡は危険度が高いので、世界で唯一、「順中逆西(じゅんちゅうぎゃくせい)」という航法をとっています。潮の流れに乗っている順潮時は中水道を、潮の流れに逆らう逆潮時は西水道を航行する、という意味です。したがって、この航路では潮流の時間帯によって左側通行にもなります。潮の流れは1日4回変わります。

<センター内の見学> 卓話のあとセンター3階の運用室前に移動し、レーダー運用卓など各種システムを見ながら吉留所長の説明を受けました。会員の有志は海拔110メートル、地上55メートルのセンター最上部に階段で上り、快晴のもとに広がる瀬戸内の絶景を楽しみました。

<ゲスト> 来島海峡海上交通センター 所長 吉留健治様、整備課管理係長 高須幸司様

次回例会(3月2日)

【3RC合同植樹例会】

- 日時：2008年3月2日(日) 8:30～11:50(予定)
- 植樹場所：玉川町陣ヶ森付近(標高500m、松山市との境、玉川ダム上流)
- 植樹内容：複合林の造成(ヒノキ林分の下木として広葉樹ケヤキ400本の植栽)

3月6日(木)例会は、3月2日(日)に振替となり例会はございません。